

08 最低賃金闘争ニュース

No.
2008年8月11日
大阪労連
TEL 06-6353-6421
FAX 06-6353-6420

8日（金）最低賃金1000円めざし6人がハンガーストライキ、40人が座り込み

最低賃金審議会総会で、連合・大阪労連・母子家庭団体の推薦者が、こころ動かす意見陳述を展開

8月6日（水）、中央最低賃金審議会は、地域別最低賃金の引き上げ目安を示しました。生活保護費より低い最賃額を原則2年以内に解消することを含め、全体の加重平均で時間額15円強の引き上げとなるもの。ランク別の目安額は、東京・大阪などAランクが15円、埼玉などBランクが11円、宮城などCランクが10円、青森などDランクが7円。CDランクは昨年とほぼ同水準を確保しているが、AとBは3～4円低い内容でした。

これを受けて、8日（金）大阪最低賃金審議会第279回総会が午後2時から開催され、22日までに金額を決めることになりました。

1, 237分間のハンスト決行

大阪労連は、改正最低賃金法のもとで、9条3項を生かし、生活保護水準を大きくこえて金額決定されることを要請してきました。8日当日は、1237分間のハンガーストライキに、大阪労連議長を先頭に6人が入りました。1237分とは、先月公表した「必要生計費」試算のうち単身者の時間額を分にしたもので、7日の午後7時から8日の午後3時37分まで、水以外絶食して座り込みました。今年こそ、1000円に近づく引き上げをさせたいの一心でストライキを決行しました。参加した人は「お腹はすいたけど、食べていけない人の深刻さを考えるとやり遂げられた」「食べないということは、物が考えられなくなる、食事は生存権最低の権利だと思った」など、報告がありました。



胸を熱くした3人の意見陳述

「なぜ、日本はこんな国になったのか」

連合推薦の全国一般地本、木下氏は連合リビングウェッジ870円以上の引き上げを要求しました。貧困層が増大しており、大幅な引き上げが必要。こう言う現実があります。労働者が工場閉鎖に会い時間給900円、年収で180万円の仕事についたが、借金せざるを得ず、900円では返済もできないため、住宅を失い、ホームレスになった実例があります。組合に金を貸して欲しい、寝るところを探して欲しいと言われた。朝の8時から12時間仕事をし、長時間労働のために頸肩腕症となる人もいます。月80時間以上の時間外労働を行い、過労死直前の労働で、不安が広がっています。なぜ、日本はこんな国になったのか、構造改革であり、政府の責任は大きい。派遣労働の自由化が貧困を生み出した。まじめに働けば生存権が保障されるような社会が必要。審議委員みなさんの責任は大きいと思います。

「子どもを残して過労死する母親」

シングルマザーフォーラムの女性は、1400円を要求しました。子供の送り迎えをすることなどから、短時間労働を選択せざるを得ない現実があります。母子家庭の年収は113万円です。深刻です。昼間働き、夜はお弁当屋さんでアルバイトなどダブルワークです。長時間労働のため、子供を残して過労死したお母さんを知っています。子供は大きくなります。教育費が大きく進学出来ない子供が増えています。学歴社会が解消されておらず、子供の将来が閉ざされます。非正規のシングルマザー自身もたいへんで、受け取る年金が少なく老後は困窮です。女性の賃金が安いからです。苦しくても離婚ができない現実があり、精神的負担が大きい。使用者側は最賃をあげると失業者が増えると言うが、根拠を示して欲しい。

「ダブルワークしたくない最賃を」

大阪労連推薦の長原明浩さんは地下鉄清掃労働者。当日は桜井美代子さんが立派に代読しました。夜間作業に従事してきましたが、現場手当の削減や夏冬それぞれ約10万円あったボーナスすら6万円から3万円に、そして現在はなくなりました。ボーナスカットで年収50万円以上の減収になるほど競争入札は賃下げとなりました。家族3人の生活費を稼ぐために今年4月から、午後7時から深夜2時までの夜間作業を行い、終了後作業員詰所で仮眠をし、始発の電車に乗り、5時半から時給1000円の2時間のダブルワークをして家に帰ります。昼間に仮眠して夜7時の勤務に就くサイクルでワーキングプアそのものの生活で、たいへんつらい生活が続いています。60歳になっても年金が不十分なため、70歳までは続けて働きたいと思っています。せめて、毎日、体をやすめるためには、ダブルワークやめる必要があります。そのためにもぜひ、大阪府の最低賃金を1000円以上に大幅にアップして欲しいと訴えました。